

農業振興

農業農村の支援策は

町長／国の第三期対策の活用で!!



桑園 憲一議員

桑園

中山間地域等直接支払制度の第三期対策の活用と耕作放棄地対策協議会と連携をとり、どのような支援策を考えているか。

町長

第三期対策として継続される本制度は、1ha以上の団地要件の緩和や体制整備単価への取り組み要件の見直し等が行われるので、耕作放棄地対策協議会の情報をもとに復元可能な農地の保全に努め作物の作付け等生産活動の方向に誘導を図ります。

スポーツコンベンション

町長／積極的な誘致活動を図る

桑園

現在の交流人口と施設の利用状況、スポーツコンベンションの推進協議会の方策について伺う。

町長

県観光統計調査によりますと、さつま町の交流



高校生のラグビー合宿（かぐや姫グラウンド）

人口は、平成18年が123万6千人、19年が129万7千人、20年が135万3千人でありスポーツコンベンションの推進については、各競技の協会や世話役の協力により合宿等の受入に取り組みます。

その他の質問

・学校施設の耐震化の現状は

商業振興

工事就労者の町内宿泊を

町長／町内宿泊を働きかける



木下 賢治議員

木下

河川激特、ダム再開発事業の就労者、見学者の町内宿泊を旅館業者と連携し、工事事務所への広報活動等で推進すべきでは。

町長

現在は概ね県内業者で



工事関係の宿泊者も多い宮之城温泉街

通勤圏内者が多いと推測されます。特殊工の技術者は泊り込みもあるようです。ダム再開発での専門的業種の増加に伴い、数十ヶ月泊り込みが考えられることから、河川事務所等を通じ町内宿泊を働きかけてまいります。

地域力向上対策について

町長／担当職員や協働の力で

木下

支援事業を提案型へとあ。時期尚早ではないか。本庁方式となれば公民館の役割が重要、館長補佐の人的経費の支援を。

町長

今後の課題は取り組みを協働して進めるべきと考えます。新たに担当部署を充実し、従来の活動はある程度残し、地域再生事業の中で支援します。公民館活動は担当職員にも指示しており、館長さん方と連携の下、スムーズな運営に努めます。

その他の質問

・宿舎のインターネット配備について
・社会教育課長の異動について
・コミュニティ協議会制度について